

第7回 江南市協働のまちづくり推進協議会 会議要旨

会議名：第7回 江南市協働のまちづくり推進協議会

開催日時：令和7年7月23日（水）午後3時30分から午後4時30分まで

場所：江南市地域交流センター 会議室1

委員：出席委員6名

- 佐藤 正之（学識経験者）
- 小畑 勝士（江南商工会議所）
- 森 亮輔（江南金融協会）
- 坂口 悦子（市民活動団体関係者）
- 佐野 宴（市民活動団体関係者）
- 伊藤 光洋（江南市社会福祉協議会）

事務局：平松 幸夫（企画部長）

大池 慎治（企画課長）

吉井 陽一（企画課 政策・協働グループリーダー）

白木 淳也（企画課 政策・協働グループ）

坪内 俊宣（企画課 政策・協働グループ）

江南市地域交流センター運営等業務受託者出席者2名

資料1 江南市NPO・ボランティア団体 活動アンケート結果

資料2 江南市地域まちづくり補助事業 令和8年度分募集要領（案）

資料3 令和8年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領（案）

議題	(1) 江南市地域交流センターの実施事業について (2) 江南市地域まちづくり補助事業について
----	--

会長挨拶

議題

(1) 江南市地域交流センターの実施事業について

○事務局から、NPO・ボランティア団体を対象としたアンケートの結果報告がありました。調査目的は、地域交流センターで行っている事業などの活用状況等を調査し、今後の事業計画に反映させるものです。

委員	課題として出てくるのが、人材不足と資金・場所がない。それに広報、ネットワークが続く。衝撃だったのは、4頁(3)、受講したいセミナーの問いに「特になし」が29.7%であったこと。自身の中では課題を認識しているものの、それを自ら解決しようとする行動に結びついておらず、課題を言葉にはしているが、「自分ごと」になっていない。行政や交流センターと一緒に解決しようとする姿勢がないと、その団体を支援するのは難しい。同じ「人材確保・育成」といっても多分、団体内でも一様ではなく、また、団体としての成熟度によっても違うと思います。
会長	このような形式のアンケートは初めてですか。
事務局	令和元年6月に実施しています。そのときは169団体に送付、97団体から回答がありました。
会長	前回と今回の結果は比較できますか。
事務局	セミナー受講について、前回「必要性を感じない」との回答は9.3%で低かったが、今回「特になし」は、29.7%でした。今回のアンケート結果から、今後のセミナーの内容を考えていきたかったが、そもそも、セミナー、講座を提供すること自体が今のニーズに合っているのか、もしかしたら別の形のものが求められているのではとも思います。
会長	182団体全てが積極的な活動をしているわけでもないでしょうが、要望、意見が上がってきた団体へのアウトリーチは必要だと思います。市民活動団体の幅も広がってきているので、セミナー受講への意欲が低く、問題意識もなく、活動も広げようと思っていない“内向き”の団体もあるとは思う。そのような違いが、サポート機関へ足が向かないことに繋がっていることもあると思います。より支援が必要な団体の話は聞いた方がよいし、それは今後活発な活動が期待できる団体の発掘にも繋がると思います。
事務局	今回のアンケート調査の結果については、各団体へ共有します。例えば、3頁、(4)で活動する上での困りごとを聞き、「人材確保・育成」

	<p>が一番多い回答でしたが、新規加入者を増やすことなのか、現在の構成員の成長についての課題なのか、あいまいな問いかけになってしまいました。秋頃には、市民活動団体向けの「コミュニティカフェ」を開催し、そこでアンケート結果の深堀を行っていきたいと考えております。</p>
委員	<p>所属団体では団体のホームページや市広報で、ボランティア募集をしているが、“やってみたい”という方も多い。現役を離れ、自分の時間が取れるようになったことからやってみたいという方が多い。今のところ、人員確保では困っていないが、(活動)資金不足という面はあります。</p>
委員	<p>活動している方は高齢者が多い結果となっているので、アンケートの回答者も高齢者。人材不足と高齢化というのは、どの分野の団体の課題でもあります。年齢構成が逆ピラミッドだったら、人材育成が課題になると思いますが、まずは人材の“確保”、その上で“育成”となると思います。</p>
委員	<p>5頁の(5)補助金の活用について、「活用する予定はない」が一番多いが、その理由まで聞いていますか。</p>
事務局	<p>直接ヒアリングは行っておりませんが、補助事業の説明会などでの様子から、公開審査会の場合へ出てまで新しい事業へ挑戦するつもりはないという意向やこの補助金が団体の運営費の補助ではないところが回答に反映されたと思います。</p>

(2) 江南市地域まちづくり補助金について

○事務局から、令和8年度実施分の江南市地域まちづくり補助事業募集要領についての説明及び地域まちづくり補助事業審査委員の推薦がありました。次に、事務局から審査方法についての説明がありました。

会長	審査委員は事務局案でよろしいでしょうか。
	(了承される)
会長	審査要領について、前回から変わった点はありますか。
事務局	審査項目は変わっていません。ただ、前回の公開審査会は、いきなり団体への質問となっていたが、今回は先ず、団体から団体概要、事業計画の説明をしていただいた後に、審査員からの質疑となります。
委員	以前は12月に書類審査を行ったが、今回はどうなりますか。
事務局	書類審査は行いません。審査委員には12月に集まっていたいただき、申請書類の内容を確認、共有していただきます。申請内容に不明な点があれば、申請団体へ伝え、公開審査会で説明してもらいます。
委員	公開審査会は、プロジェクターを使うような大掛かりなものになりますか。
事務局	プレゼン形式にも対応はできますが、提出された申請書に基づいた説明、質疑になります。
委員	1団体の時間はどれぐらいですか。
事務局	昨年度は1団体15分でした。今回もそれぐらいになると思います。
委員	そうすると、団体、事業説明が3分程度。また、発表者の団体の活動への思いが強く、補助事業の狙いとは離れている説明になったりと、時間配分については事務局から申請団体へしっかりと説明をお願いします。
事務局	前回は、団体、事業説明を省いたため、いきなり質疑から入って、反って分かりにくくなった反省もあります。
委員	市や交流センターからの指摘事項が重要だと思います。その部分を整理し、説明していただくと採択されやすい計画になると思います。
委員	審査する中で、当該団体の紹介は必要だと思います。また、委員から質問されることで新しい”気づき“に繋がることもあります。
会長	審査時間については最低15分として、申請団体数により弾力的にしてもいいかもしれません。

第7回江南市協働のまちづくり推進協議会次第

と き 令和7年7月23日（水）
午後3時30分から5時まで
ところ 江南市地域交流センター会議室1

1. 会長あいさつ

2. 議題

(1) 江南市地域交流センターの実施事業について

(2) 江南市地域まちづくり補助事業について

○その他

机上配布資料について

配布資料

- 資料1 江南市 NPO・ボランティア団体 活動アンケート結果
- 資料2 江南市地域まちづくり補助事業 令和8年度分募集要領（案）
- 資料3 令和8年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領（案）

江南市 NPO・ボランティア団体 活動アンケート（結果報告）

1 調査目的

江南市で活動している市民活動団体に対して、地域交流センターで行っている事業や補助制度についての活用状況調査等を行い、事業計画に反映する。

2 調査対象

市民活動団体 182 団体

3 調査期間

令和 7 年 6 月 5 日から 6 月 30 日まで

4 調査方法

郵送により配付し、回答はWEB入力、郵送、持参のいずれかの方法で回収。

5 回収結果

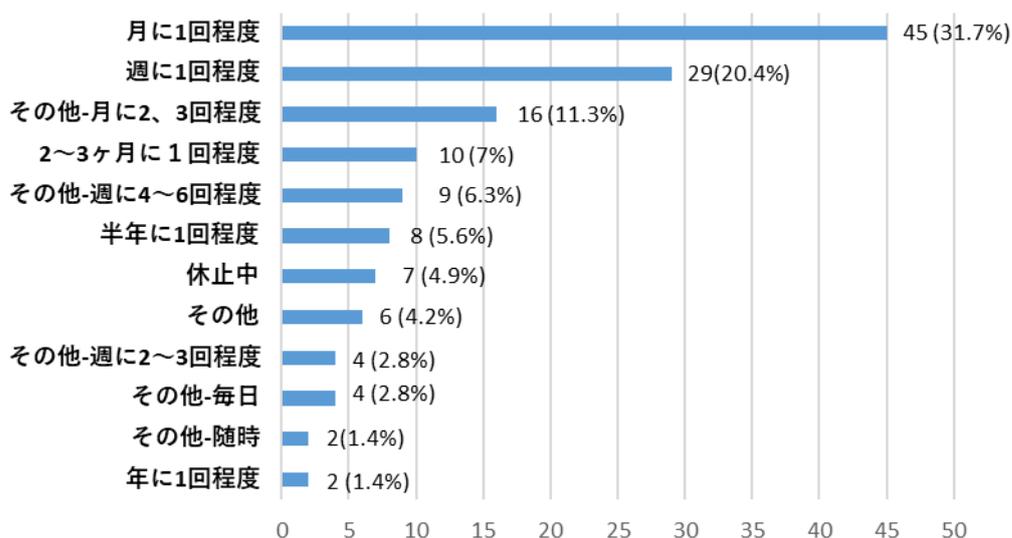
配付数：182 団体

回収数：144 団体

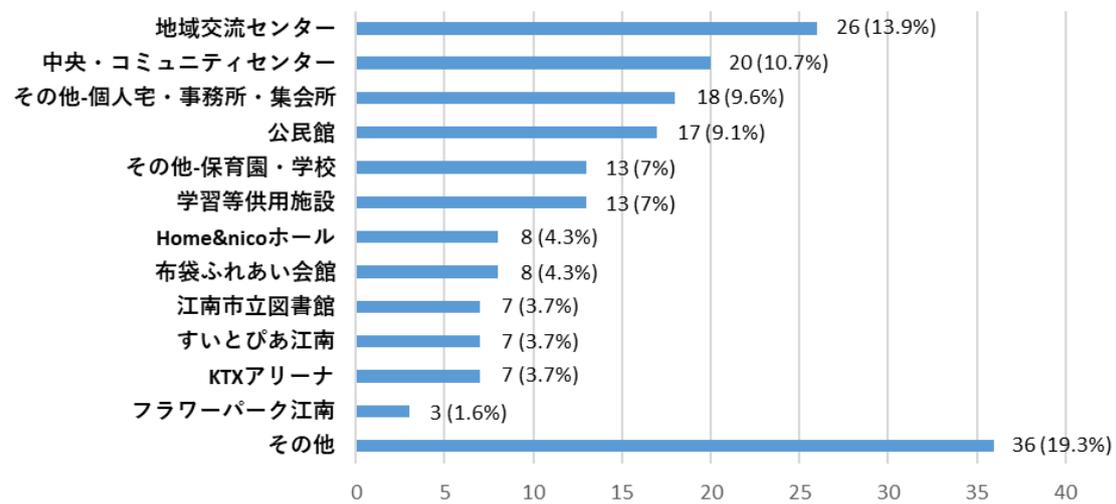
回収率：79.12%

1. 活動状況について

(1) 活動の頻度を教えてください。(143 団体の回答/総数 142)

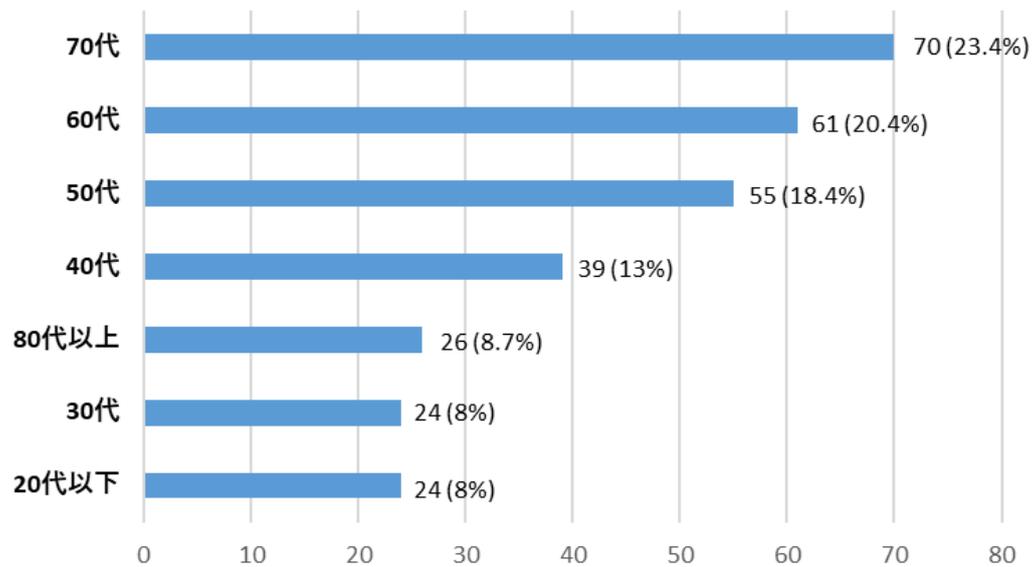


(2) 主な活動場所を教えてください。(138 団体の回答/総数 187)

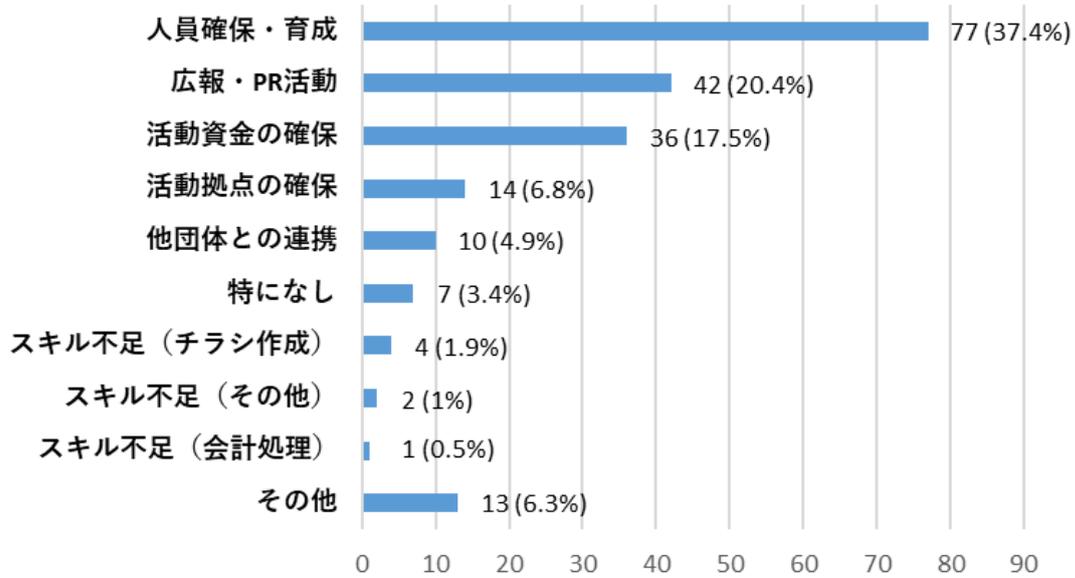


その他回答…屋外、市内全域、市内その他施設、市外等

(3) 主にどの年代の方で活動しているか教えてください。(139 団体/総数 299)

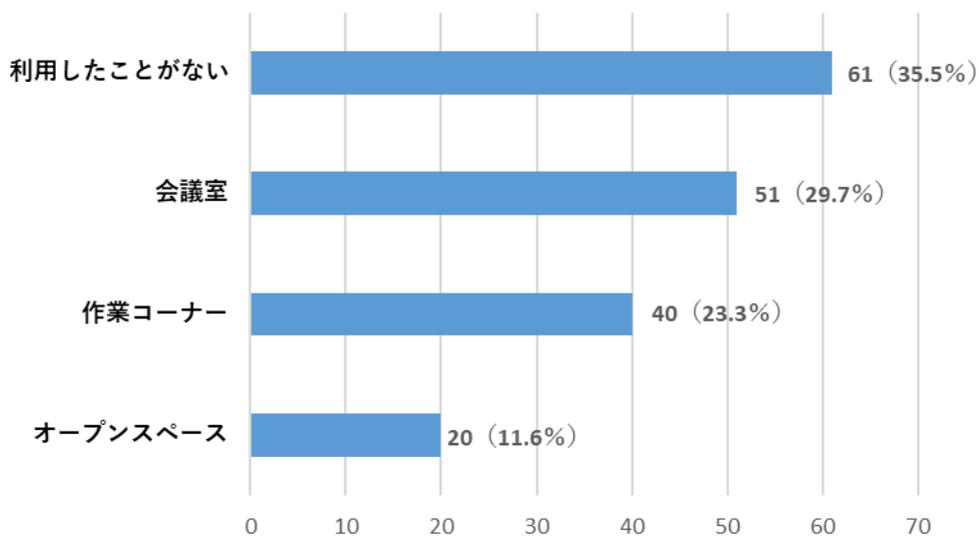


(4) 活動するうえでの困りごとがあれば教えてください。
 (120 団体の回答/総数 206)

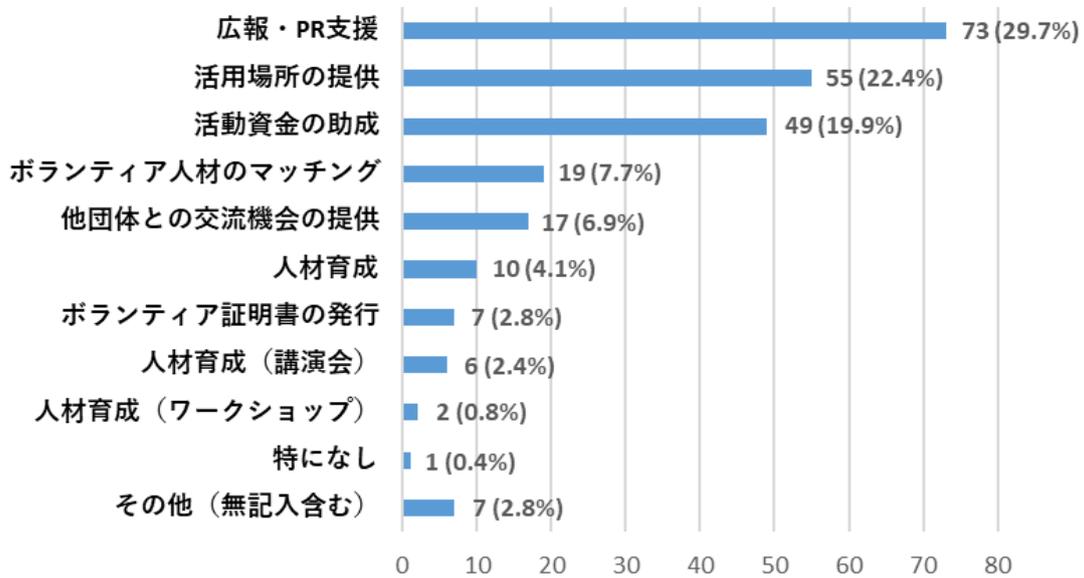


2. 地域交流センターについて

(1) 利用したことがある施設 (機能) を教えてください。(137 団体の回答/総数 172)



(2) 市からの支援として有効だと考えるものを教えてください。
 ※3 つまで回答可 (121 団体の回数/総数 246)

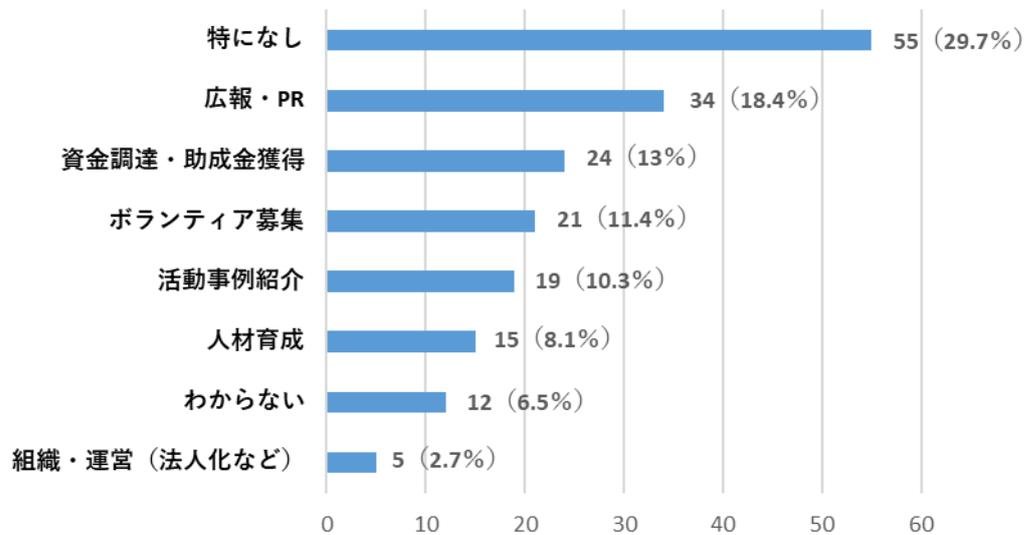


【その他の意見】

- ・ 中央公園芝生広場の整備
- ・ 環境学習会の開催
- ・ バスの利用 (現地研修の際) など

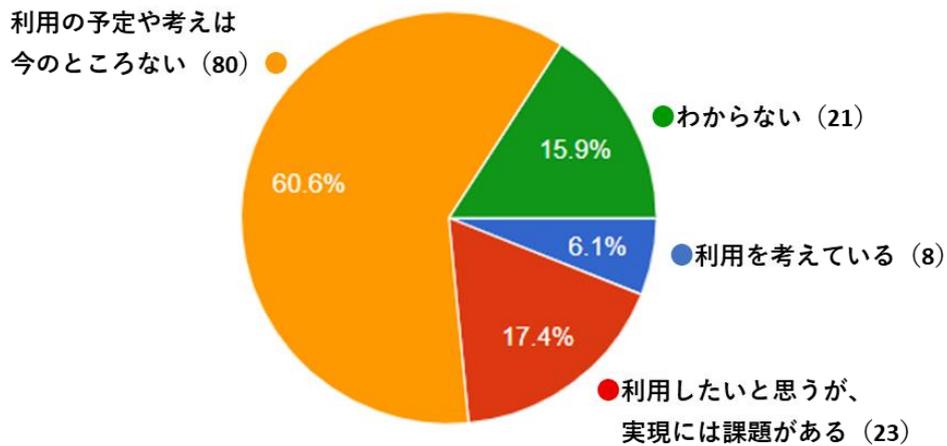
○江南市地域交流センターでは、市民活動やボランティアに興味のある方を対象に定期的にセミナーを開催しています。

(3) 受講したいセミナーの内容があれば教えてください。(131 団体の回答/総数 185)



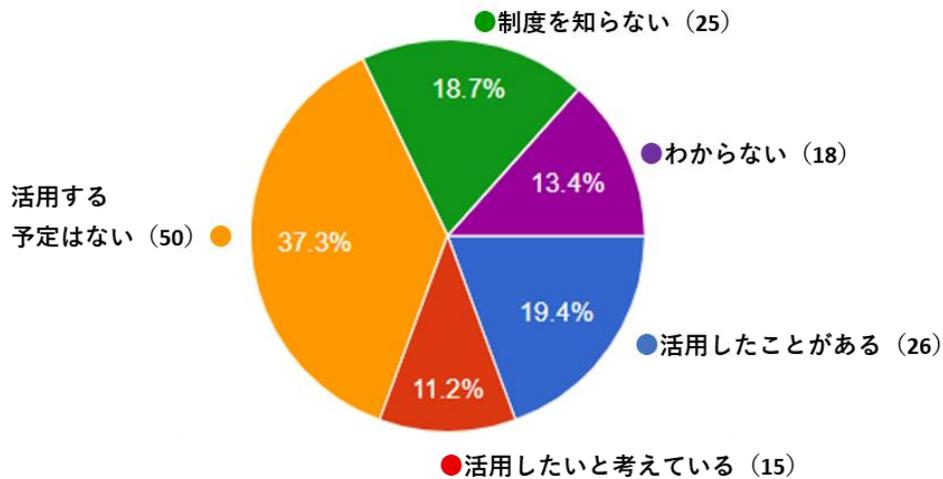
○布袋駅東駅前広場（地域交流センターと布袋駅の間の広場）は、駅前の賑わいや地域活性化、様々な団体や世代が参加して交流できるイベント等で利用することができます。

(4) 布袋駅東駅前広場のイベント等での利用意向について教えてください。
 (131 団体の回答/総数 132)



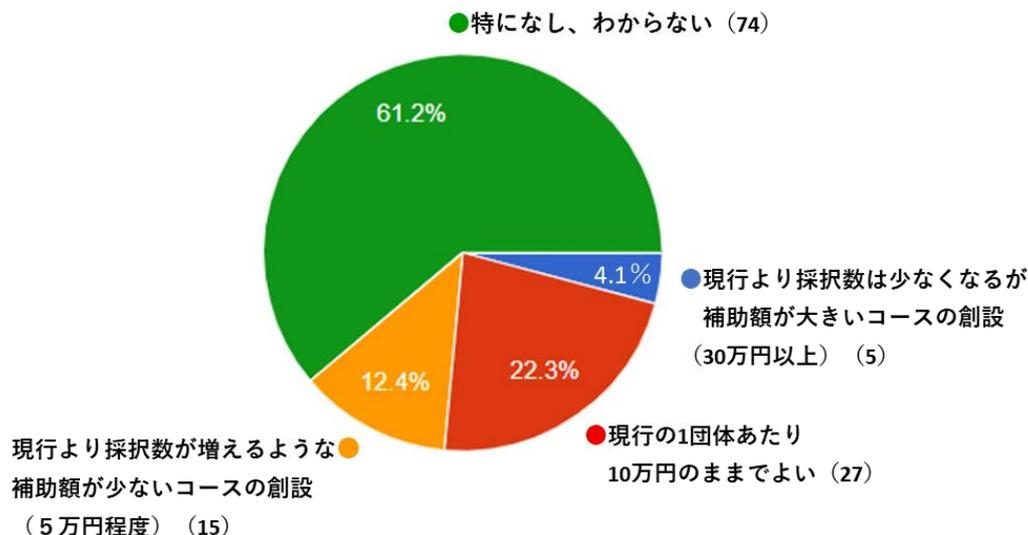
○ 地域交流センターでは、江南市地域まちづくり補助事金の申請受付や申請支援を行っています。

(5) 江南市地域まちづくり補助金の活用について教えてください。
 (134 団体の回答/総数 134)



(6) 補助金額についての希望内容を教えてください。<現行1団体上限10万円>

(121団体の回答/総数121)



(7) その他、市民活動についてご意見、ご要望があれば教えてください。

主なご意見・ご要望

【活動に関すること】

- ・ 同じ様な活動をしている団体があれば紹介してほしい。
- ・ 現在は、活動先を探している方や団体の情報が知りたいと思っております。
- ・ 現在、おもちゃ病院「スマイル」では有志によって集められた壊れたおもちゃの部品を使って無償で修理を行なっておりますが、活動予算が潤沢に有る訳ではないので開催会場を無料にて提供頂けると活動回数が増えたりするのではと思う所です。
- ・ 多くのボランティア団体が、担い手の確保や活動の継続に課題を感じています。次の世代へつなぐためにも、初心者向けの研修やリーダー育成など、人材育成に関する支援があると心強いです。また、活動を知ってもらう広報のサポートや、地域事業・施設などでの発表や実践の場も必要だと感じます。さらに、団体同士がつながり、情報交換や学び合いがじっくりできる機会があると、活動が広がったり、ヒントを得られたりするのではないかと思います。行政や地域のみなさんと協力しながら、市民活動が無理なく楽しく続けられる環境づくりを願っています。
- ・ 会員の住む地域が広くて、トコトコは利用しにくいですが駅が近いので利用を検

討したいと思っています。

- ・ヒト・コトこうなんマルシェのような、他団体との交流ができるのは、とても良いと思います。お互いのつながりあえる機会になると思います。
- ・会員の住む地域が広くて、トコトコは利用しにくいですが駅が近いので利用を検討したいと思っています。
- ・個人情報保護法により、ボランティア団体が活動を利用してもらいたい人に直接コンタクトを取ることができない。それができるのは自治体だけだと思うが、実際には動いてくれていないと感じている。
- ・私達のようなボランティアは役場から困り事を丸投げされるだけで協力はしてもらえず問題ばかりです。本当に切羽詰まった活動状況なので相談にのってもらえると助かります。

【江南市地域まちづくり補助金】

- ・補助金のごことは、知りませんでした。今後参考にしたいと思いました。
- ・子供対象の活動なので、学校でチラシの配布ができるようになるとうい。
- ・80%補助ですが、70周年の時のように金額補助あるいは20%を自己資金だけでなく参加費で補ってもよい補助金になると運営サイドの負担がなくなり使いやすくなります。
- ・地域まちづくり補助金(6)の金額について、まちづくりと言うより小さな団体のみのための企画に思える事業に補助金が出ている様に思える。対象となる本来の人数や企画の大きさ、事業の先進性、斬新制、公共性等を考慮し、プレゼン内容で金額の大小を決めたり、本来のまちづくり企画から外れたと感じられた場合は減額するくらいの気概を持ち、まちづくり補助事業を運営できないかと思っています。
- ・補助金を受ける団体で個人的な活動の団体もあり、一般の方を選定に参加すべきかと思う。金額も内容によって、1万円～3万、5万、10万以上と、コースを決定方式が良いと……（市民への問題解決度により）

【布袋駅東駅前広場】

- ・駅前広場のイベント利用の意向については、風が強いし集客がむずかしい。

以上



江南市

地域まちづくり補助事業

令和 8 年度分 募集要領

江南市地域まちづくり補助金は…

地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域がつながり地域を良くしていこうとする事業に対して補助を行い、地域の自治力を高めていくことを目的としています。

【定義】地域：おおむね小学校区以上の範囲

募集期間：令和7年10月1日(水)～11月12日(水)

問合せ・申請書などの提出先

江南市役所 企画課 政策・協働グループ

〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90

E-mail : seisaku@city.konan.lg.jp

電話：0587-54-1111（内線 348） FAX：0587-54-0800

※申請書などの様式は、企画課と地域交流センターでお渡しします。

また、市ホームページからもダウンロードできます。

（江南市ホームページ <https://www.city.konan.lg.jp/>）

サイト内検索で「江南市地域まちづくり補助事業」または、ページ番号から検索で「1001759」で検索してください。



◆目次

対象となる事業	1
事業例	2
事業者の要件	3
事業の要件	3
補助の対象となる経費	4
手続きの流れとスケジュール	5
応募について	6
説明会・相談会について	6
審査・選考方法	6
事業の実施と成果の報告	8
その他	9
交付実績	9
申請書の記載例（つながろう！連携コース）	11
申請書の記載例（ひろげよう！展開コース）	16

◆対象となる事業

対象となる事業は2コースあります。どちらかを選択して、申請してください。

ひろげよう！展開コース

今、地域に何が必要で何に困っているか、地域で生活する住民だからこそ気づく地域の課題がたくさんあります。そこで「ひろげよう！展開コース」では、その解決の糸口となる地域住民の主体的な活動を応援し、この事業の実施が活動を充実させ、活動の展開・地域への定着につながることを期待します。

補助期間	補助金額	補助率
補助金の交付の決定を受けた日から、当該交付の決定を受けた日の属する年度の3月31日までの期間	上限10万円	上限80% (千円未満切捨て)

つながろう！連携コース

地域が今後、更に成長・発展していくためには、個々の団体の活動内容が充実していくとともに、複数の団体が力をあわせて地域の課題解決にあたることが大切です。そこで「つながろう！連携コース」では、団体間の連携を応援し、この事業の実施が活動分野・地域の異なった団体間のネットワークづくりへとつながることを期待します。

補助期間	補助金額	補助率
補助金の交付の決定を受けた日から、当該交付の決定を受けた日の属する年度の3月31日までの期間	上限20万円	上限90% (千円未満切捨て)

◆事業例

地域で活動する団体などが工夫を凝らして、地域がつながり地域を良くしていこうとする取り組みが行われています。

令和6年に実施された補助事業の例を紹介します。これから皆さんが「協働のまちづくり」に向けた取り組みを検討する際の参考にしてください。

実施団体：エコすく（ecology school）

コース：ひろげよう！展開コース

補助額：100,000円

事業名：SDGs ワークショップで学ぼう！感じよう！考えよう！

事業内容：「SDGs」に親しむためのワークショップや観劇などを通じて、子どもたちが自分と環境・社会とのつながりに興味を持ち、視野を広げ、行動したいと思う機会を提供すると同時に、より多くの世代に「SDGs」について関心を持ってもらえることを目指し、次世代を担う子どもたちが周りを巻き込んでいく体験を通して、リーダーとなる意識をもっていくことを期待し、事業を実施する。

成果：「SDGs」を切り口に、各回テーマを設け、講義とワークショップを組み合わせた講座イベントを4回開催した。子どもたちだけでなく保護者の参加も多く、アンケートでは「SDGsへの関心が高まった」との回答が多いことから、事業の目的である「SDGsに興味関心を持ち、わがこと意識を育ててもらう」という点において、一定の効果があつた。



実施団体：布袋区

コース：ありがとう！江南市70周年コース※このコースは終了しました。

補助額：50,000円

事業名：区民全員の命を守りたい「安心感のある街へ」

～布袋区から発信する防災のしおり作成を通じた住民繋がり事業～

事業内容：住む人ひとりひとりが「安心感」を感じられるように、もう一度自分が住んでいる町を見つめ、災害に対し、自助・共助を考えられるような冊子作りを、住民の協働で行い、全戸配布することにより、住み続けたい町、人と人が繋がる町への気運を高める活動とする。

成果：多くの住民から防災に対する意見を得ることができ、冊子に畳敷きで高齢者に利用しやすい避難施設の紹介を加えたり、断水時の給水袋を区として用意しておく必要性などを再確認する機会となり、地域全体で防災意識の向上が図られた。作成した冊子は、全戸配布を行い、また、他の地区でも参考にできるように市へ提供した。



◆事業者の要件

対象となる事業者は次のような団体です。

- ①区・町内会
- ②老人クラブ
- ③子ども会
- ④商店街振興組合
- ⑤PTA
- ⑥地域コミュニティ協議会
- ⑦NPO等市民活動団体 など

ただし、次の団体は対象外とします。

- ・政治活動または宗教活動を目的としている団体
- ・暴力団、暴力団員が役員となっている団体、または暴力団、暴力団員と密接な関係を有している団体
- ・過去に2回以上「ひろげよう！展開コース」で補助金を受けた団体
- ・過去に「つながろう！連携コース」で補助金を受けた団体

◆事業の要件

①両コース共通の要件

- ・営利を目的とした事業ではないこと
- ・商品の購入や製作のみを目的とした事業ではないこと
- ・地域の理解が得られる事業であること
- ・新たに始める事業であること。または、既存の事業であっても、補助を受けることで事業の拡大・発展等の効果が得られること
- ・この補助金以外の補助金などを受けていない、または、受ける予定のない事業であること

②つながろう！連携コースの要件

- ・2つ以上の団体が協力して行う事業であること
- ※なお、申請時に協力して行う団体間で、事業の実施及びこの補助金の申請に関して合意が得られていることを条件とします。



◆補助の対象となる経費

補助対象経費及び補助対象外経費

	補助対象経費	補助対象外経費
(1) 報償費	団体構成員以外の講師、専門家、出演者等への謝礼、調査・研究等に係る報償費等ただし、団体構成員であっても、他団体から派遣され講師等をする場合は、対象とする。	<ul style="list-style-type: none"> 商品券等の金券の購入代金 記念品等の購入経費 参加賞（お菓子、ノベルティなど）の購入経費
(2) 交通費	講師との打合せなどの交通費等（公共交通機関かタクシーなど領収書が発行される交通手段）	旅行を目的としたイベントの旅費 ガソリン代
(3) 印刷費	チラシ、ポスター、報告書等の作成費や印刷費	
(4) 消耗品費	材料、消耗品等の購入費 ※1品あたり1万円以上は物品費	
(5) 物品費	1品あたり3万円を超えないもの ただし、1万円未満のものは、消耗品費として計上する。	
(6) 通信料	郵便料、運搬料、振込手数料	電話代、FAX代
(7) 保険料	ボランティア活動保険などの保険料	火災保険、地震保険など、家屋にかかる保険料
(8) 委託料	専門知識、技術を要する業務など、事業の一部を外部に委託した費用	
(9) 使用料、賃借料	会場等の使用料、機器類の貸借（レンタル）料等	家賃（敷金、礼金を含む）
(10) 食糧費	講師の飲み物や熱中症対策など最低限必要な飲み物 <u>※原則として参加者には飲み物を持参するように呼びかけること。</u>	食事、アルコール類

※その他（事業実施のために必要な経費で、市長が認めたもの）が必要になった場合には、随時、設けることとする。

①その他の補助対象外経費

- 土地の取得、造成、補償に関する経費
- 団体の経常的な運営に関する経費（事務局経費など）
- 領収書等により支払ったことを明確にすることができない経費
- その他事業実施に直接関係のない経費、市長が社会通念上適切でないと認めた経費等

②参加者の費用負担について

- ○○づくり講座などで、参加者から材料費などとして参加料を取ることが適当な場合は、「この事業による収入」として計上してください。

◆手続きの流れとスケジュール

補助金の申請から交付、報告までは次のような流れとなります。
 交付決定は、交付年度に入ってから（4月1日以降）となります。

スケジュール	事業者	市	審査会
令和7年10月1日(水) ～11月12日(水)	申請書提出	受理	
令和7年12月上旬		指摘事項	
令和7年12月中旬	申請書再提出		書類確認
令和8年1月10日(土)	公開審査会		
令和8年1月中旬		審査結果通知	
令和8年4月1日以降		交付決定	
	概算払請求	補助金交付	
	補助金受領		
事業終了後	実績報告書提出 概算払精算		
令和9年2月～3月末 (未定)	公開での成果報告		
～令和9年3月31日(水)		補助金確定	

※公開審査会では、再提出された申請書で審査します。

◆応募について

①募集期間

令和7年10月1日(水)～11月12日(水) ※必着

②交付申請書

募集期間中に以下の書類を市役所企画課に提出してください。

メール (seisaku@city.konan.lg.jp) による提出も可能です。

(1) 江南市地域まちづくり補助金交付申請書

(2) 事業計画書

団体概要 ※団体の収支決算書または予算書、規約、会則等の添付必須

(3) 申請事業収支予算書

※交付申請書等につきましては、鉛筆、消せるボールペンで記入しないよう注意してください。

※申請書の提出にあたり、応募相談会に必ず参加してください。

◆説明会・相談会について

①応募説明会(任意)

補助金制度や申請書の記載方法について説明会を行います。

日時 9月13日(土)午後7時30分～午後8時20分、
9月19日(金)午前11時30分～午後0時20分

場所 地域交流センター 会議室1

申込 説明会の前日までに電話、申込フォーム
または直接地域交流センター(TEL58-5771)へ

②応募相談会 ※申請書の提出にあたり、相談会に必ず参加してください。

募集期間中、事業計画の立て方や活動内容を的確に伝える申請書の書き方などについて、地域交流センタースタッフが個別に相談に応じますので、この機会を必ず活用してください。事前に予約が必要です。

日時 10月1日(水)～11月12日(水)
午前10時～午後8時(木曜日を除く)

場所 地域交流センター

申込 相談希望日の3日前までに電話、申込フォーム
または直接地域交流センター(TEL58-5771)へ

申込フォーム



◆審査・選考方法

提出いただいた申請書類に基づき、公開審査会で応募(申請)者の方にヒアリング(質疑応答)を行います。

※公開審査会に出席できない場合は、補助金を受けることはできません。

①公開審査会

日時：令和8年1月10日(土) 時間未定

場所：地域交流センター 会議室

審査員：江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員

②審査項目と配点

「ひろげよう！展開コース」

審査項目		配点
(1) 目的の明確性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目標は明確か。 ・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。 	10
(2) 公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・広く江南市民の役に立つ事業であるか。 ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。 	10
(3) 社会状況・市民ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。 ・市民の共感が得られる事業であるか。 	10
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。 ・事業を十分に実施できる組織の体制か。 	10
(5) 情報の開示性	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。 ・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。 	5
(6) 展開性	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。 ・補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。 	5
合計		50

「つながろう！連携コース」

審査項目		配点
(1) 目的の明確性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目標は明確か。 ・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。 	10
(2) 公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・広く江南市民の役に立つ事業であるか。 ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。 	10
(3) 社会状況・市民ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。 ・市民の共感が得られる事業であるか。 	10
(4) 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。 ・事業を十分に実施できる組織の体制か。 	10
(5) 情報の開示性	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。 ・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。 	5
(6) 先駆性	<ul style="list-style-type: none"> ・内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。 ・行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。 	5
合計		50

③採択方法

両コースとも、各審査員が地域まちづくり補助事業として3ページの事業の要件に適合しているか及び50点満点の評価を行い、審査員の過半数が適合すると判断し、かつ平均点が30点以上のものについて、地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から採択していきます。

(例) 予算60万円の場合(事業の要件に適合し、かつ平均点30点以上の事業を予算額内で採択)

点数	適合性※	申請額	採択
45	7/7	20万円	○
37	7/7	10万円	○
35	7/7	10万円	○
34	6/7	8万円	○
32	7/7	10万円	○
30	7/7	10万円	×
33	3/7	10万円	×
28	6/7	20万円	×

累計 58万円

※適合性は審査員のうち事業の要件に適合すると認めた割合。
(審査員のうち適合するとした数
/総審査員数)

④交付決定、支払い

審査を経て、補助対象事業候補を決定しお知らせします。(1月中旬)

補助する事業と補助金の額の正式な決定は4月になります。

補助金は原則として概算払(全額または一部)でお支払いします。(4月下旬)

◆事業の実施と成果の報告

①事業の実施

令和8年4月～令和9年3月

②実績報告書

事業終了後速やかに、以下の書類を提出していただきます。

(1) 江南市地域まちづくり補助金実績報告書

(2) 実施報告書

※事業で作成したチラシやポスター、実施状況がわかる写真などを添付してください。

(3) 補助事業収支決算書

※必ず領収書(コピー不可)を添付してください。

③公開の報告会または掲示

令和9年2月～3月に、事業成果の報告会または掲示をしていただきます。

◆その他

当市が必要と認めた場合は、事業の実施途中及び完了後に関わらず、事業に関する範囲内で調査及び監査を行います。

補助金の交付を受けた団体は、作成するチラシやポスターに「江南市地域まちづくり補助事業」である旨を明示してください。また、広報こうなんへの掲載やPRの場への出席など、当事業の周知に協力してください。事業で作成したチラシやポスターなどは、実績報告書とともに提出していただきます。

「公正性」「透明性」を高めるとともに地域まちづくりの促進のため、補助金の交付額、事業内容及び活動報告等については、市ホームページへの掲載その他の方法により公表します。

◆交付実績

令和7年度江南市地域まちづくり補助事業一覧

◇ひろげよう！展開コース 6 事業

事業名	実施団体	事業内容
もちつき大会交流会	安良区連絡協議会	近郊の小学校から譲り受けた餅つき用の杵と臼を利用して、12月に餅つき交流会を実施してきました。100名以上の参加者があり、地域の子ども会とのタイアップもしてきました。今回はそのつきたての餅を利用して山深い雪の多い美濃の里で行っている「花もち」作りに挑戦します。「花もち」の由来や伝統にも触れさせ、コンピュータを利用して「花もち」作りの想いや由来について参加者向けにプレゼンテーションを行いたいと考えています。
ママのためのリラクゼーションタイム	まちづくり木曾川「ママとキッズとパパ」の会	子育てを頑張っているママたちのために、すいとびあ江南にて大浴場や食堂、宿泊施設としての機能を平日の昼間に利用し、子どもを預かり同じ建物内にいるという安心感のもと、気軽に自分のための時間を過ごすことができる事業を定期的で開催します。心も体もリフレッシュして幸せな気分で子育てができることを願っています。
和太鼓演奏の技術者育成事業	高屋和太鼓クラブ	高屋町の伝統行事である高屋夏祭りでの和太鼓演奏に向けて、演奏者である小学生の技術力の向上と指導者の育成を図るため、外部講師を招いて指導を仰ぐとともに、和太鼓を通じて住民との交流機会を創出し、担い手の確保と伝統の継承による地域づくりを目指します。

<p>みんなで祝おう！森のおたんじょうび会</p>	<p>特定非営利活動法人おさんぼや</p>	<p>フラワーパーク江南の新エリア「ふるさとの森」で、地域のこどもたちの誕生日をみんなで祝い、同じ地域で子育てをする参加者同士が交流できる「安心安全な居場所」を作っていきます。たくさんの緑にあふれ、街中とは違い大きな木々に囲まれた静かな「ふるさと森」を、世代を超えた地域の憩いの場所として活用します。</p>
<p>地域住民との連携による古知野区の魅力発信及び認知度向上</p>	<p>鼠牢会</p>	<p>江南市の中心地として市内でも古い歴史を持つ古知野区の賑いを創出するためには、より多くの人に古知野区の魅力を知ってもらい、人が集ることが必要である。そのため、古知野区の魅力の一つである最も有名なお祭り「古知野まつり」を地域住民と連携してドローン撮影をし、SNS等により配信する。</p>
<p>子育てサロンはじめての一步 ～心と体・五感で楽しむ子育て～</p>	<p>タッチケアとおしゃべりを楽しむ会「こころはぐ」</p>	<p>心と体、五感で感じる子育てサロン、親（保護者）、子、のタッチケア、絵本、香、色のセラピー等を一緒に楽しめるサロンを、全5回実施します。小人数制で行い、親（保護者）にアロマハンドマッサージなどのタッチケアを毎回実施します。</p>

過去の交付事業、実施の様子は、市ホームページ「江南市地域まちづくり補助事業の今」のページでご覧いただけます。

（江南市ホームページ <https://www.city.konan.lg.jp/>）

サイト内検索で「江南市地域まちづくり補助事業」または、ページ番号から検索で「1001759」で検索してください。

◆申請書の記載例（つながろう！連携コース）

江南市地域まちづくり補助金（つながろう！連携コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

1 団体概要

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子供会、PTAは添付する必要はありません。）

※連携コースの同一団体での採択の上限は1回までです。

① 代表団体

名称	〇〇〇の会		
代表者	江南 太郎	設立年月	平成20年4月 会員数 10人
住所	〒483-〇〇〇〇 江南市〇〇町〇〇〇〇番地		
連絡先	TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇
	E-mail : seisaku@××△△.jp		
設立の目的・これまでの活動内容等			
<p>設立の目的：音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。</p> <p>これまでの活動内容：地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートをを行っています。</p>			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>団体の設立の目的やこれまでの活動を簡単にまとめる</p> </div>			

② 連携団体（複数ある場合は、記入枠を複写し、各々の団体分記載してください。）

名称	△△△クラブ		
代表者	江南 花子	設立年月	平成21年4月 会員数 48人
住所	〒483-□□□□ 江南市□□町□□□□番地		
連絡先	TEL : 0587-□□-□□□□		TEL : 0587-□□-□□□□
	E-mail : konan@〇〇××.jp		
設立の目的・これまでの活動内容等			
<p>設立の目的：地域の子どもに対して、文化活動、社会活動の機会の提供し、子ども豊かな感性を伸ばし、青少年の健全育成に寄与することを目的に設立しました。</p> <p>これまでの活動内容：乳幼児保育事業、親子の自然体験教室、舞台・芸術鑑賞会、子育てに関する講演会や研修会を開催しています。</p>			

2 事業計画（令和〇〇年度に取り組もうとする活動内容）

今回申請する事業を始めようと思ったきっかけとなる地域課題や社会的な問題について記入（これまで団体でやってきた活動の課題ではありません）

① 事業名	
気軽にクラシック	
② 問題意識	
事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。	
クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。	
しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくしてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。	
また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも30分～1時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。	
そこで、小さな子どもを持つ親子が参加できるよう、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かすことができる参加型演奏会を実施します。	
③ 事業の内容及び実施方法	
内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。	
内容：有名なクラシック曲や最近のポップス、子どもに人気な楽曲を中心とした参加型演奏会	
方法：キーボード、バイオリン、サックス、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。	
会場：市内の公民館、保育園、子育て支援センター、市民文化会館（音楽室）等	
対象：誰でも参加可（主に子育て世代対象）	
時間：1時間～1時間30分のプログラム	
実施内容：有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。また、リズムに合わせて体を動かすことで自律神経の健やかな発達を促し、心と体のバランスを整えるリトミックを行います。	
周知方法：チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。	
④ 事業のスケジュール	
準備から事業終了まで、令和〇〇年度内のスケジュールを具体的に記載してください。	
日程	予定
4月中旬	連携団体と打合せ、地区の代表者や保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ
5月～6月	楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習
7月～3月	各地区で演奏会
12月〇日	市民文化会館（音楽室）で演奏会
2月～3月	次年度の楽曲選定・練習

できるだけ具体的に記入

できるだけ具体的に記入

⑤ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラックス効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。

また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで親子のコミュニケーションのきっかけになると考えています。

事業実施によって地域課題や社会的な問題にどのような効果があるのか記入

⑥ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

今後は、他の団体とも連携しながら、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえるよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。

⑦ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック
-----	----------

【支出】

(単位:円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費	20,000 講師謝礼(リトミック指導員)5,000円×4人=20,000円
	交通費	0
	印刷費	10,000 チラシ印刷代 5種類×2,000枚=10,000円
	消耗品費	42,204 楽譜(クラシック名曲集) 5,000円 楽譜 7,560円 延長コード 4,000円 マイク 7,400円、 マイクスタンド 2,800円 託児用マット 5,800円×2枚=11,600円 折り紙 540円 画用紙 540円 クレヨン 1,382円×2セット=2,764円 1万円未満
	物品費	46,450 アンプ 29,800円 スピーカー 16,650円 1万円以上3万円未満
	通信料	1,840 切手代 92円×20枚=1,840円
	保険料	24,500 来場者用傷害保険 10,000円 ボランティア保険 250円×58人
	委託料	20,000 楽曲アレンジ 1曲10,000円×2曲=20,000円
	使用料、賃借料	4,300 会場借上げ料(市民文化会館音楽室)2,150円×2区分=4,300円
	食糧費	1,250 スポーツドリンク(熱中症対策用) 125円×10本=1,250円
	合計	170,544
対象外経費	お菓子代	13,800 お茶菓子 13,800円
	合計	13,800 ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外 (詳しくは、募集要領4ページ)
合計	184,344	=「事業費総額」

「消耗品一式」など内容の分からない記入はしない
金額の内訳が分かるようにできるだけ具体的な数字を記入

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 B	10,000	参加者負担金 200円×50人=10,000円
地域まちづくり補助金 C	144,000	
自己資金 D	30,344	
合計	184,344	=「事業費総額」

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 A	この事業による収入 B	補助率 (9)	地域まちづくり補助金 C
(170,544)	− 10,000)	× 9 /10	= 144,000

(1,000円未満切捨て)

「事業費総額」	この事業による収入 B	地域まちづくり補助金 C	自己資金 D
184,344	− 10,000	− 144,000	= 30,344

◆申請書の記載例（ひろげよう！展開コース）

江南市地域まちづくり補助金（ひろげよう！展開コース） 事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

1 団体概要

名称	〇〇〇の会		
代表者	江南 太郎	設立年月	平成 20 年 4 月 会員数 10 人
住所	〒483-〇〇〇〇 江南市〇〇町〇〇〇〇番地		
連絡先	TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇		TEL : 0587-〇〇-〇〇〇〇
	E-mail : seisaku@××△△.jp		
設立の目的・これまでの活動内容等			
設立の目的：音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。 これまでの活動内容：地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートをを行っています。			
※過去に展開コースで採択された回数（ 0回） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> 団体の設立の目的やこれまでの活動を簡単にまとめる </div>			

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子供会、PTAは添付する必要はありません。）

※展開コースの採択の上限は2回までです。

2 単年度事業計画（令和〇〇年度に取り組もうとする活動内容）

① 事業名	気軽にクラシック
	今回申請する事業を始めようと思ったきっかけとなる地域課題や社会的な問題について記入（これまで団体でやってきた活動の課題ではありません）
② 問題意識	事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。
	クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。 しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。 また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも30分～1時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。そこで、小さな子どもを持つ親子が参加できるよう、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったりすることができる参加型演奏会を実施します。

できるだけ具体的に記入

③ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

内容：有名なクラシック曲や子どもに人気の楽曲を中心とした参加型演奏会

方法：キーボード、バイオリン、サクソ、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。

会場：保育園、子育て支援センター、市民文化会館（音楽室）等

対象：誰でも参加可（主に子育て世代対象）

時間：1時間のプログラム

実施内容：有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。

周知方法：チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。

できるだけ具体的に記入

④ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、令和〇〇年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定
4月中旬	保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ
5月～6月	楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習
7月～3月	各地区で演奏会を開催
12月〇日	市民文化会館（音楽室）で演奏会
2月～3月	次年度の楽曲選定・練習

事業実施によって地域課題や社会的な問題にどのような効果があるのか記入

⑤ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラックス効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。

また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで家族のコミュニケーションのきっかけになると考えています。

⑥ 将来展望 将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

今後は、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえるよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。

⑦ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック
-----	----------

【支出】

(単位:円)

項目	予算額	内訳・積算根拠	
補助対象経費	報償費	0	
	交通費	0	
	印刷費	10,000	チラシ印刷代 5種類×2,000枚=10,000円
	消耗品費	26,760	楽譜(クラシック名曲集) 5,000円 楽譜 7,560円 延長コード 4,000円 マイク 7,400円、 マイクスタンド 2,800円 1万円未満
	物品費	46,450	アンプ 29,800円 スピーカー 16,650円 1万円以上3万円未満
	通信料	1,840	切手代 92円×20枚=1,840円
	保険料	11,000	来場者用傷害保険 10,000円 ボランティア保険 250円×10人
	委託料	20,000	楽曲アレンジ 1曲10,000円×2曲=20,000円
	使用料、賃借料	4,300	会場借上げ料(市民文化会館音楽室) 2,150円×2区分=4,300円
	食糧費	0	
	合計 A	120,350	
対象外経費	お菓子代	13,800	お茶菓子 13,800円
	お茶	6,000	打合せ用 125円×月4回×12ヶ月=6,000円
	合計	19,800	ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外です。 (詳しくは、募集要領4ページ)
合計	140,150	=「事業費総額」	

【収入】

(単位:円)

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 B	10,000	参加者負担金 200円×50人=10,000円
地域まちづくり補助金 C	88,000	
自己資金 D	42,150	
合計	140,150	=「事業費総額」

「消耗品一式」など内容の分からない記入はしない
金額の内訳が分かるようにできるだけ具体的な数字を記入

※ **C**、**D** は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計 A		この事業による収入 B		補助率 (8)		地域まちづくり補助金 C
(120,350	－	10,000)	×	8	/10	= 88,000

(1,000 円未満切捨て)

「事業費総額」		この事業による収入 B		地域まちづくり補助金 C		自己資金 D
140,150	－	10,000	－	88,000	=	42,150

令和 8 年度江南市地域まちづくり補助事業審査要領

1. 補助金の交付決定の方法

(1) 補助金は、江南市地域まちづくり補助事業審査委員会が申請事業について、補助金交付の適否及び補助金の額を審査し、その審査結果を受けて市長が決定します。

審査は、補助金の交付申請書類及び申請者への質疑応答の内容に基づき行います。

(2) 当該年度の予算要求額の範囲内で、審査基準に示す点数の高い順に対象事業を採択します。

2. 審査員（江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員）

江南市協働のまちづくり推進協議会委員のうち、互選された委員 5 名以内（学識経験者含む）と企画部長及び企画課長が、審査員として審査を行います。

専門性や中立的な立場から審査をするため、できるだけ申請者と直接関わりのない委員を選任します。

3. 審査基準

審査項目は、各コースで、次のような内容を判断の視点とします。

各審査委員が地域まちづくり補助事業としての適合性及び 50 点満点の評価を行い、審査委員の過半数が適合すると判断し、かつ平均点が 30 点以上の申請事業を地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から補助金の対象事業とします。（申請者と直接関わりのある委員は、当該申請事業の審査には参加しません。）

「両コース共通の項目」

(1) 目標の明確性

- ・事業の目標は明確か。
- ・事業の実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。

(2) 公益性

- ・広く江南市民の役に立つ事業であるか。
- ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。
- ・市民の参加や参画が推進される内容になっているか。
- ・団体構成員の親睦または構成員相互の利益となる事業にならないか。

(3) 社会状況・市民ニーズの把握

- ・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容になっているか。
- ・市民に共感が得られる事業であるか。

(4) 実現性

- ・ 事業内容は実現可能なものか。
- ・ 事業の実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。
- ・ 事業を十分に実施できる組織の体制か。
- ・ 事業内容と事業費のバランスはよいか（費用対効果はどうか）。

(5) 情報の開示性

- ・ 広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。
- ・ 事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすくなっているか。

「ひろげよう！展開コースの項目」

(6) 展開性

- ・ 発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。
- ・ 補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。

「つながろう！連携コースの項目」

(7) 先駆性

- ・ 内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。
- ・ 行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。
- ・ 市民団体としての活動の特性が上手く活かされている事業であるか。

4. 補助事業実施報告会・評価

補助金実績報告書を提出するとともに、公開の報告会を開催しますので、その場において事業実施の報告または掲示等を行っていただきます。

◇令和8年度江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員

(任期は令和8年3月31日までとする。)

氏名	区分	備考
	江南市協働のまちづくり推進協議会委員	
平松 幸夫	企画部長	
大池 慎治	企画課長	

江南市地域まちづくり補助事業審査票

～ひろげよう！展開コース～

審査員名	
------	--

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

【満点50点】

① 目的の明確性

明確である	⇔	やや明確である	⇔	明確でない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

② 公益性

高い公益性がある	⇔	公益性がある	⇔	公益性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

③ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている	⇔	把握されている	⇔	不十分である						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

④ 実現性

実現性が高い	⇔	実現性がある	⇔	実現性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

⑤ 情報の開示性

十分である	⇔	ややある	⇔	不十分である	
5	4	3	2	1	0

⑥ 展開性

拡大・継続が見込める	⇔	やや見込める	⇔	見込めない	
5	4	3	2	1	0

評点合計	
------	--

江南市地域まちづくり補助事業の要件に適合しないと判断する場合はチェックしてください。	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

※審査員意見欄（特記すべき事項をご記入ください。）

江南市地域まちづくり補助事業審査票

～つながろう！連携コース～

審査員名	
------	--

申請事業名	
団体名	

※該当する点数に○印をつけてください。

【満点50点】

① 目的の明確性

明確である	⇔	やや明確である	⇔	明確でない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

② 公益性

高い公益性がある	⇔	公益性がある	⇔	公益性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

③ 社会状況・市民ニーズの把握

十分把握されている	⇔	把握されている	⇔	不十分である						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

④ 実現性

実現性が高い	⇔	実現性がある	⇔	実現性がない						
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

⑤ 情報の開示性

十分である	⇔	ややある	⇔	不十分である	
5	4	3	2	1	0

⑥ 先駆性

拡大・継続が見込める	⇔	やや見込める	⇔	見込めない	
5	4	3	2	1	0

評点合計	
------	--

江南市地域まちづくり補助事業の要件に適合しないと判断する場合はチェックしてください。	<input type="checkbox"/>
--	--------------------------

※審査員意見欄（特記すべき事項をご記入ください。）